

宅地造成に関する工事の許可申請書類のチェック表（図面編）

【市町村受付時の提出部数】知事許可：正本1部、副本3部
各土木事務所長許可：正本1部、副本2部

綴じる 順 番	図面名称	チェック ボックス	内容
◎	全ての図面	<input type="checkbox"/>	方位、縮尺を記載
		<input type="checkbox"/>	宅造区域境界線を朱線とし、凡例を記載
		<input type="checkbox"/>	宅造区域境界線は、例に倣って記載（例：隣地境界線、道路境界線、水路境界線、里道境界線等）
		<input type="checkbox"/>	前面道路名称を例に倣って記載（例：国道〇〇号、市道〇〇号線、里道等）
		<input type="checkbox"/>	前面道路の建築基準法上の道路種別を例に倣って記載 （例：法第42条第1項第1号、建築基準法上の道路ではない等）
		<input type="checkbox"/>	前面道路幅員（全幅）を記載
1	地形図（現況図） 縮尺：1／1000以上	<input type="checkbox"/>	KBM、地盤高を記載
		<input type="checkbox"/>	雨水排水放流先である河川、水路名称を記載
		<input type="checkbox"/>	開発又は宅造完了地である場合：許可日及び番号、検査済証交付日及び番号を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：完了地の区域を記載
2	面積求積図 縮尺：1／1000以上	<input type="checkbox"/>	辺長を記載
		<input type="checkbox"/>	宅造区域全体の求積表を記載
		<input type="checkbox"/>	宅造区域が複数の土地利用計画に分かれる場合：土地利用毎に求積を行い、求積表を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：土地利用計画表を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：各土地利用の合計面積が、申請書の面積と相違する場合は理由を記載
		<input type="checkbox"/>	宅造区域を一部地とする場合、宅造区域だけを示すのではなく、申請地が含まれる地番（筆）の全てを記載（申請地は実線、一部地部は点線で表示）
3	切盛工事部分の求積図 （切盛工事部分の土量 計算書） 縮尺：1／1000以上	<input type="checkbox"/>	切土部分、盛土部分毎に求積
		<input type="checkbox"/>	飛び地となる場合は各飛び地部分で求積
		<input type="checkbox"/>	求積表を記載
		<input type="checkbox"/>	求積と切土及び盛土高さから土量を計算
		<input type="checkbox"/>	土量の根拠となる計算式を記載
4	宅地計画平面図 縮尺：1／1000以上	<input type="checkbox"/>	KBM、計画地盤高を記載
		<input type="checkbox"/>	切土（黄色）、盛土（赤色）を着色し、凡例を記載
		<input type="checkbox"/>	断面図の作成位置を記載
		<input type="checkbox"/>	「宅地造成等規制法施行令及び都市計画法施行令の一部を改正する政令（平成19年4月1日）」に基づく宅地防災マニュアルの改訂による、以下の基準を記載（都市計画法施行令第28条） ・盛土をする場合には、盛土に雨水その他の地表水又は地下水の浸透による緩み、沈下、崩壊又は滑りが生じないように、おおむね30センチメートル以下の厚さの層に分けて土を盛り、かつ、その層の土を盛るごとに、これをローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止ぐい等の設置その他の措置を講ずること。 ・切土又は盛土をする場合において、地下水により崖崩れ又は土砂の流出が生ずるおそれがあるときは、開発区域内の地下水を有効かつ適切に排出することができるように、国土交通省令で定める排水施設を設置すること。
		<input type="checkbox"/>	擁壁等の構造物：新設、既設の別、構造、材種、全高、見え高、延長を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：底版形状を点線で記載
		<input type="checkbox"/>	〃：折れ点の角度、隅角補強部、目地位置を記載
		<input type="checkbox"/>	既設擁壁がある場合：開発又は宅造の検査済証を取得した擁壁であれば、許可日及び番号、検査済証交付及び番号を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：開発又は宅造の検査済証を取得していない擁壁であれば、安全性を示す。
		<input type="checkbox"/>	法面がある場合：形状、勾配を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：法面高さが1mを超える箇所は法面保護方法、及び保護範囲を示す。
		<input type="checkbox"/>	がけの断面図の作成位置を記載
5	宅地縦横断面図 縮尺：1／1000以上	<input type="checkbox"/>	現況及び計画地盤線を表示し、凡例を記載
		<input type="checkbox"/>	計画地盤高を記載
		<input type="checkbox"/>	切土（黄色）、盛土（赤色）を着色し、凡例を記載
		<input type="checkbox"/>	盛土厚を記載
		<input type="checkbox"/>	「宅地造成等規制法施行令及び都市計画法施行令の一部を改正する政令（平成19年4月1日）」に基づく宅地防災マニュアルの改訂による、以下の基準を記載（都市計画法施行令第28条） ・盛土をする場合には、盛土に雨水その他の地表水又は地下水の浸透による緩み、沈下、崩壊又は滑りが生じないように、おおむね30センチメートル以下の厚さの層に分けて土を盛り、かつ、その層の土を盛るごとに、これをローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止ぐい等の設置その他の措置を講ずること。 ・切土又は盛土をする場合において、地下水により崖崩れ又は土砂の流出が生ずるおそれがあるときは、開発区域内の地下水を有効かつ適切に排出することができるように、国土交通省令で定める排水施設を設置すること。
		<input type="checkbox"/>	擁壁等の構造物がある場合：新設、既設の別、構造、材種、全高、見え高を記載
		<input type="checkbox"/>	隣接地に擁壁がある場合：造成により隣地擁壁が水抜き穴の本数や根入れ等技術基準に不適合となる部分はないか検討
		<input type="checkbox"/>	排水施設がある場合：形状を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：調整池（貯留施設）がある場合は形状を記載
		<input type="checkbox"/>	法面がある場合：形状、勾配、高さを記載
<input type="checkbox"/>	〃：法面高さが1mを超える箇所は法面保護方法、及び保護範囲を示す		
6	排水施設平面図 縮尺：1／500以上	<input type="checkbox"/>	排水施設を表示し、凡例を記載
		<input type="checkbox"/>	排水施設の新設、既設の別、種別、形状、勾配、水の流れる方向、寸法を記載
		<input type="checkbox"/>	取付管、本管等においては、管径、管材料、勾配、延長を記載
		<input type="checkbox"/>	放流先の名称を記載
		<input type="checkbox"/>	表面水、排水構造物の流下方向を記載
		<input type="checkbox"/>	法面には雨水が直接流入しない計画とする
		<input type="checkbox"/>	ひな壇宅地の場合は、上段にも雨水枡を設置し下段雨水枡に接続
		<input type="checkbox"/>	

宅地造成に関する工事の許可申請書類のチェック表（図面編）

【市町村受付時の提出部数】知事許可：正本1部、副本3部
各土木事務所長許可：正本1部、副本2部

綴じる 順番	図面名称	チェック ボックス	内容
7	排水施設構造図 縮尺：1/50以上	<input type="checkbox"/>	造成行為で設置するものを全て記載
		<input type="checkbox"/>	泥溜め寸法(15cm以上)を記載
		<input type="checkbox"/>	砂巻きの範囲は、「道路土工 カルバート工指針」に即する
		<input type="checkbox"/>	オリフィスから流出する水の流れが阻害されないよう放流口の下端をオリフィスの下端より低い位置に設置
8	放流先水路構造図 縮尺：1/50以上	<input type="checkbox"/>	放流先水路の寸法、名称、常水位を表示
		<input type="checkbox"/>	宅造区域内の新設排水施設から、区域外の既設排水施設に至るまでを表示
9	がけの断面図 縮尺：1/50以上	<input type="checkbox"/>	切土をした土地の部分に生ずる高さが2mを超えるがけ、盛土をした土地の部分に生ずる高さが1mを超えるがけ又は切土と盛土とを同時にした土地の部分に生ずる高さが2mを超えるがけが発生する場合は詳細図を作成
		<input type="checkbox"/>	高低差最大となる箇所の部分詳細図を作成
		<input type="checkbox"/>	現況及び計画地盤線を表示し、凡例を記載
		<input type="checkbox"/>	勾配、土質、がけの高さを記載
		<input type="checkbox"/>	法面保護方法、保護範囲を記載
		<input type="checkbox"/>	法面高さが5mを超える箇所は、法高5m毎に小段を設け、U字溝等排水施設を配置
		<input type="checkbox"/>	小段幅は1.5m以上
		<input type="checkbox"/>	法高が15mを超える場合は、安定計算を添付
		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	
10	擁壁の断面図 縮尺：1/50以上	<input type="checkbox"/>	擁壁一般事項：宅造区域境界線を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：支持地盤、埋戻土の土質を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：施工時に想定地盤どおりか確認を行い、その結果を検査時に提出する旨を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：想定地盤と異なる等、地盤改良が必要となる場合は、変更許可申請が必要となるため、その旨を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：必要地耐力を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：施工時に必要地耐力以上か確認を行い、その結果を検査時に提出する旨を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：必要地耐力の確認方法を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：必要地耐力が100kN/m ² を超える場合の確認方法は、原則、建築基準法 告示第1113号に従い行う旨を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：基礎形状を表示し、材料及び寸法を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：躯体寸法、必要に応じて勾配を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：コンクリートの設計基準強度を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：止水コンクリートの寸法を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：透水層の形状を表示し、材料及び寸法を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：水抜き穴の位置を表示し、材料及び寸法を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：水抜き穴を見付け高の1/2以下、千鳥配置とする旨を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：吸い出し防止材の位置を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：見え高寸法、根入れ寸法を実際的设计値(最大値～最小値)で記載
		<input type="checkbox"/>	〃：隅角補強があれば詳細図を作成
		<input type="checkbox"/>	〃：擁壁前面に畦道がある場合は、畦下から根入れを検討
		<input type="checkbox"/>	〃：擁壁前面に水路がある場合は、形状を表示し、水路底から根入れを検討
		<input type="checkbox"/>	RC擁壁の場合：配筋図を作成
		<input type="checkbox"/>	〃：鉄筋径、ピッチ、規格を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：かぶり寸法が分かる詳細図を作成
		<input type="checkbox"/>	〃：重ね継手長さを記載
		<input type="checkbox"/>	間知擁壁の場合：裏込めコンクリートの寸法を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：胴込めコンクリート、裏込めコンクリートの設計基準強度を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：勾配を記載
		<input type="checkbox"/>	地盤改良を行う場合：改良厚及び幅を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：改良剤の添加量を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：改良体の一軸圧縮強度(計画値)を記載
<input type="checkbox"/>	〃：検査時に一軸圧縮試験結果を提出する旨記載		
<input type="checkbox"/>	〃：地盤改良後に建築基準法 告示第1113号による試験を行い、必要支持力以上を確認する旨を記載		
<input type="checkbox"/>	〃：地盤改良の計画を変更する場合は、変更許可申請が必要となる旨を記載		
<input type="checkbox"/>	大臣認定擁壁を使用する場合：認定書の写し、有効期限内の認証証明書、土質等が認定条件に適合していることが確認できる試験結果、施工要領書等を添付		
<input type="checkbox"/>	透水マットを使用する場合：カタログ、施工要領書(手順書)、認定書の写しを添付		
11	擁壁展開図 縮尺：1/200以上	<input type="checkbox"/>	擁壁一般事項：前面地盤線、背面地盤線、前面水路底線等表示し、凡例を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：伸縮目地位置を表示(20m以内毎に設置)
		<input type="checkbox"/>	〃：地盤が変化する箇所、擁壁の構造が変化する箇所等は伸縮目地を配置
		<input type="checkbox"/>	〃：伸縮目地間隔毎に延長を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：伸縮目地位置での見え高、根入れ寸法等を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：水抜き穴を表示し、表面積3㎡に1箇所以上設置
		<input type="checkbox"/>	〃：伸縮目地間隔毎に水抜き穴の本数計算を行い、計算式を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：水抜き穴を見付け高の1/2以下、千鳥配置とする旨を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：擁壁の折れ点では角度を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：隅角補強が必要となる場合は、箇所を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：隅角補強部から伸縮目地位置までの延長を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：頭切りを行う場合は、天端幅を記載
		<input type="checkbox"/>	〃：地盤改良を行う場合は範囲を記載
<input type="checkbox"/>	間知擁壁：見え高とともに斜長も記載		
<input type="checkbox"/>	〃：伸縮目地位置での天端幅を記載		

※本チェック表は、申請書類の補正指示の内、頻度の多いものを掲載しています。
※本チェック表の項目以外に、状況に応じて補正指示をすることがあります。